

(平成28年 9月分)

種類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>9月の水産物は、台風に加えて、秋雨前線が長く停滞したことにより、漁獲量が低下した。</p> <p>そのため、9月の総入荷量は、前年同月に比べると鮮魚、冷凍魚、加工水産物の全てで入荷量が下回り、全体として5%下回った。</p> <p>取扱金額は、前年同月に比べると鮮魚、冷凍魚は前年並みとなつたが、加工水産物が減少し、全体として2%下回った。</p>
(区分別の動向) 鮮魚	<p>9月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ4%下回ったことから、平均単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、よこわ、天然まだい、すずき等が好漁で入荷が上回ったため、価格は値下がりした。あまだい、ひらめ、するめいか等は漁獲の減少により入荷が下回ったため、価格は値上がりした。</p> <p>10月後半には、さんま漁が終盤となるが、今期の型は小型サイズが中心であり、2年連続の不漁となりそうである。さばも秋さばの時期となり、これから冬に向けて旬となるが、資源量が減少傾向にあり、低調な漁が予想される。旬のかますは順調な入荷が続いている、塩焼き、刺身等による料理がお勧めである。</p>
冷凍魚	<p>9月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ4%下回ったことから、平均単価は5%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷あかえびの価格はほぼ前年並みだったが、入荷は上回った。海外養殖えびは価格が値上がりとなつたため、入荷は下回った</p> <p>10月も冷えびはブラックタイガー種の値上がりが続く見込みである。アメリカ産（ブリストル湾）さけ漁は、今年も昨年に続き好調な漁獲となつたが、海外の需要が強く日本向けは、前年並みか、前年より少なくなる見込みである。</p>

加工水産物	<p>9月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ9%下回ったが、平均単価は前年並みであった。</p> <p>品目別には、塩さんま、開干さんま、すけそうこ、干水かれいは入荷が大きく減少したため、価格は値上がりとなった。開干あじは、入荷が上回ったことから、価格は値下がりした。塩銀さけは若干の値上がりとなったが、需要が強く入荷は上回った。</p> <p>10月は、秋の味覚である新物塩さんまの入荷が最後となるが、9月後半から小型サイズを中心に入荷が増えてきている。また、旬を迎える開干かます、塩さばに加え、入荷の増えてくる干かれい等が美味しい季節となる。</p> <p>11月には、日本海かに漁が解禁となり、冬の味覚までもう少しである。</p>
-------	--

※生鮮魚：鮮魚、貝類、淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	山口, 静岡で水揚げされたもの主体の入荷で, 入荷量は前年同月と比べ5%下回ったため, 價格は1%上回った。
ま い わ し	愛知, 三重で水揚げされたもの主体の入荷で, 入荷量は前年同月と比べ9%上回ったが, 他の青物魚の漁獲が低調であったことから需要が伸び, 價格は5%上回った。
さ ば	三重, 韓国で水揚げされたもの主体の入荷で, 入荷量は前年同月と比べ17%下回ったが, 小型サイズが多かったため, 價格は11%下回った。
す る め い か	青森, 岩手で水揚げされたもの主体の入荷で, 入荷量は前年同月と比べ53%下回ったため, 價格は35%上回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ本まぐろが15%上回ったが, めばちまぐろは13%, きはだまぐろは19%下回ったことから, 太物類の総入荷量は前年同月と比べ6%下回ったため, 價格は8%上回った。
よ こ わ	長崎, 青森で水揚げされたもの主体の入荷で, 入荷量は前年同月と比べ167%上回ったため, 價格は48%下回った。
さ わ ら	鳥取, 大阪で水揚げされたもの主体の入荷で, 入荷量は前年同月と比べ20%下回ったため, 價格は25%上回った。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ4%下回ったため, 價格は3%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ14%下回ったため, 價格は31%上回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月と比べ10%下回ったため, 價格は4%上回った。

塩さんま	北海道産の入荷で、入荷量は前年同月と比べ19%下回ったため 価格は40%上回った。
------	--